

2-4 祭り

■ふたつの祭り

マッサ・マリッティマに特徴的で、重要な祭りといえば、地区対抗の競技祭である「バレストロ・デル・ジリファルコ Balestro del Girifalco」と守護聖人を祝う「サン・チェルボーネ San Cerbone」である。

イタリアの歴史ある都市の多くには、歴史(特に中世の時代)を感じさせる興味深い祭りがあるけれども、トスカーナ州に限ってみれば、地区対抗で何かを競い合う、というケースが圧倒的に多いように感じている。それがマッサ・マリッティマでは石弓なのである。石弓の祭りは、他にも実施されているところがあるが、マッサ・マリッティマの祭りが、もっとも代表的で興味深いものとされている。

一方、守護聖人を祝う祭りは、イタリアのどこのコムーネでもある。それぞれに守護聖人がいて、カトリックの暦にしたがい、その聖人の日を祝う。この日は、そのコムーネの機関であれば休日扱いになり、学校や市役所、市立図書館などがその対象となる。つまり、イタリアで「市民の日」とは、「守護聖人の祝日」なのである。

■バレストロ ～ 石弓競技の地区対抗戦

競技祭は石弓で行われ、石弓そのものを「バレストロ Balestro」という。中世の独立共和国を彷彿とさせるような祭りであるが、中世の時代から続いてきたものではなく、第二次大戦後に「復活」させられたものである。5月と8月の年に2回あり、2008年に100回を迎えている。2014年の春は選挙のためにずれ込んで6月1日、112回目の開催となった。

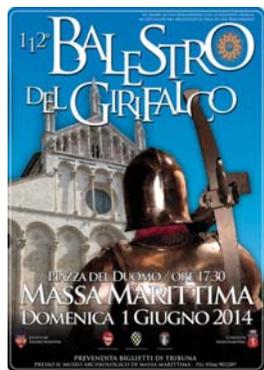


図 2-19 バレストロの祭り ポスター(左) 広場での競技開催の様子(右,筆者撮影)



図 2-20 バレストロの行列 中世の衣装を着て街を練り歩く人々 ※筆者による近年の撮影